

経営比較分析表（令和5年度決算）

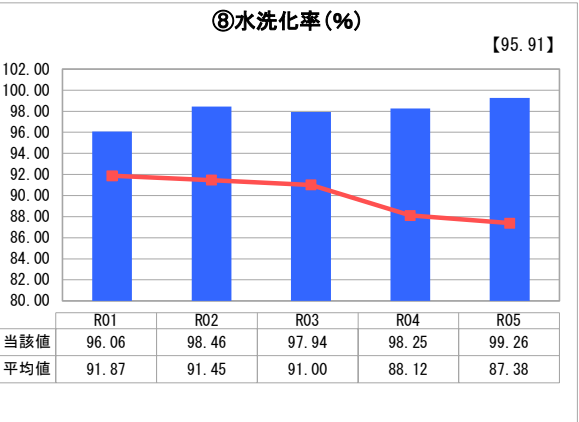
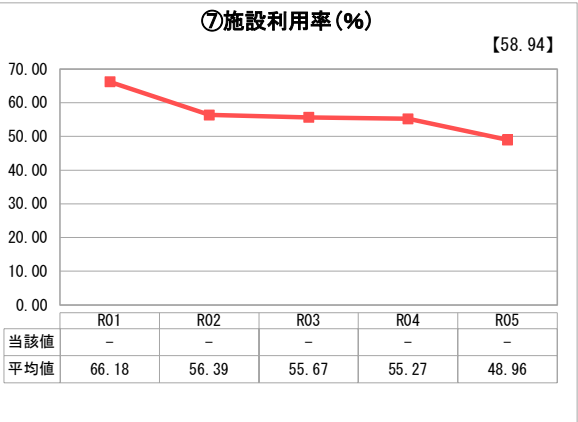
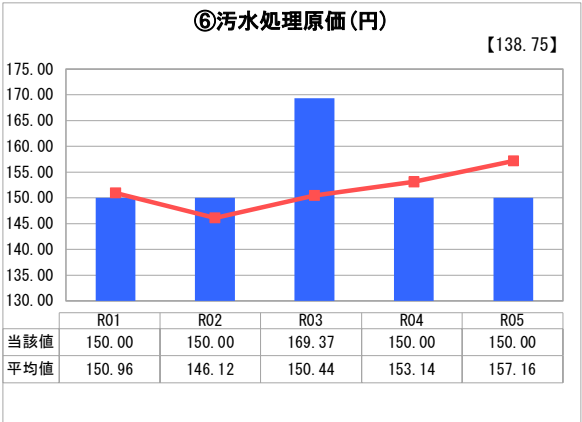
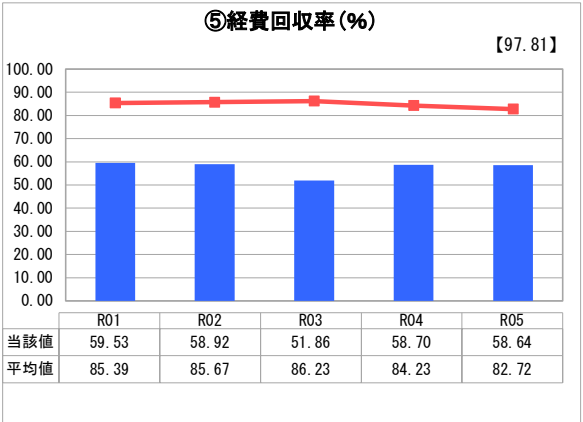
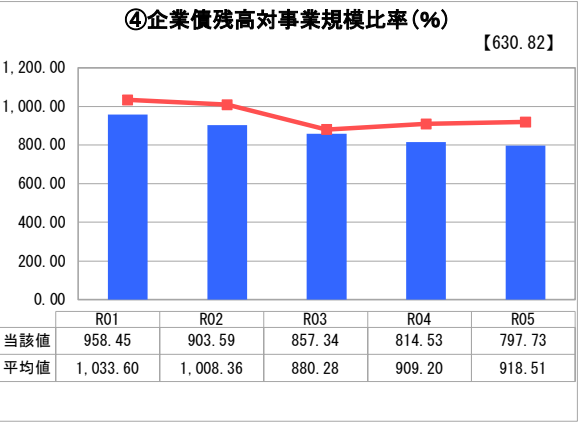
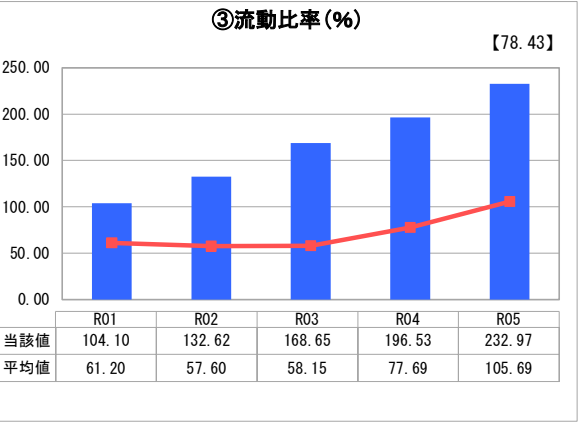
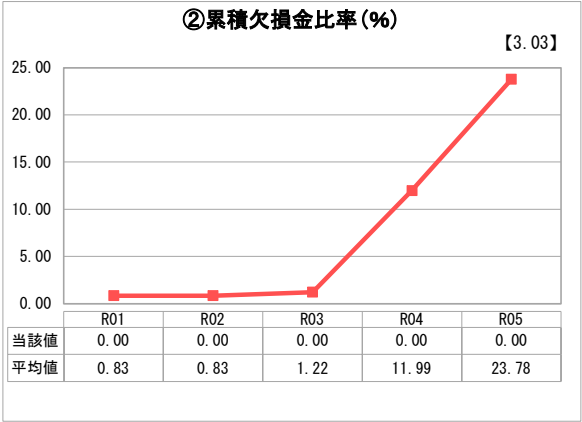
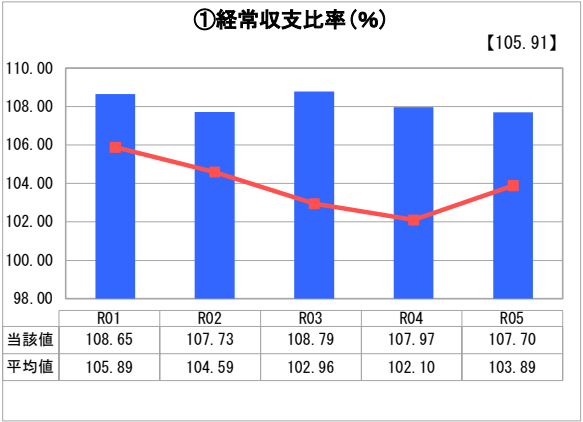
静岡県 長泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	76.88	80.41	98.89	1,650

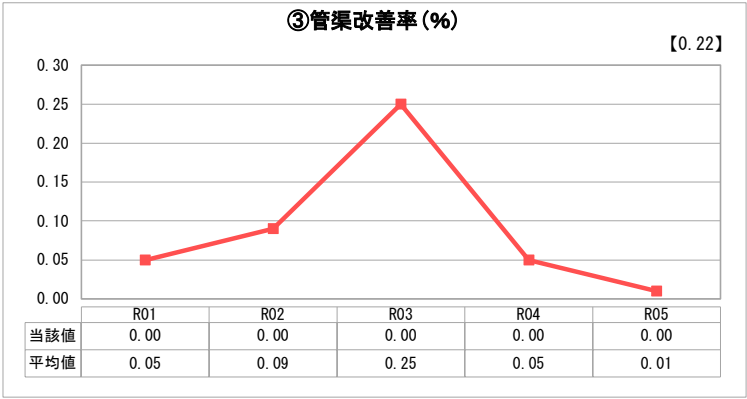
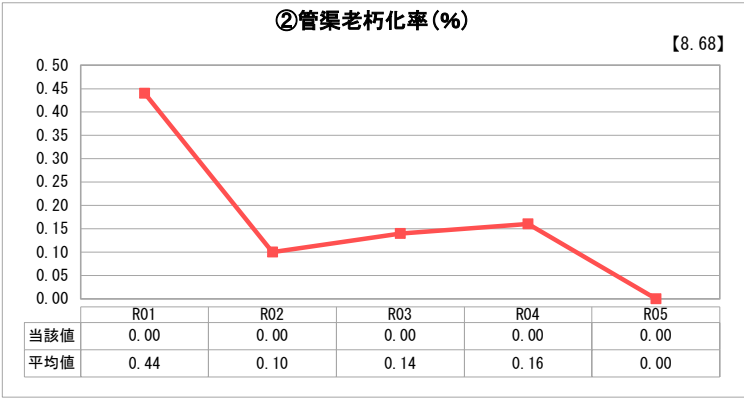
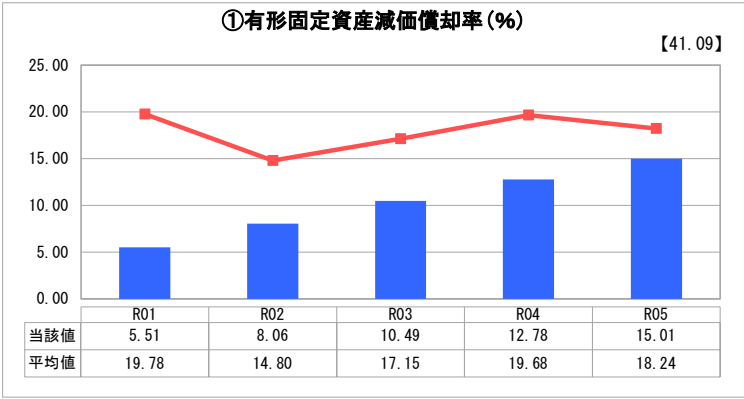
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
43,528	20.73	2,099.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
34,988	5.01	6,983.63

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
100%を上回る黒字状態を維持しています。
- ②累積欠損金比率
対象期間を通して欠損金は発生していません。
- ③流動比率
200%を上回っており、短期的な債務に対する支払い能力があります。
- ④企業債残高対象事業規模比率
企業債残高のピークは過ぎており、企業債残高の規模は減少傾向にあります。
- ⑤経費回収率
流域下水道維持管理負担金に対して、使用料単価が低いことが、経費回収率が低い要因となっています。
- ⑥汚水処理原価
流域関連公共下水道として、県の流域幹線に汚水を排水しています。
- ⑦施設利用率
流域関連公共下水道として、県が狩野川西部浄化センターで汚水を集約して処理しています。
- ⑧水洗化率
水洗化率は、町民の協力のもと、高い水準を維持し、望ましい状態と言えます。

2. 老朽化の状況について

今後、下水道整備から30年以上経過する管渠が増加する中で、ストックマネジメント計画により計画的効率的な点検調査及び、修繕・改築を継続して行う予定です。また、下水道整備が必要な区域に対して新設整備事業と老朽化対策を並行して着手する必要があり、財源の確保に留意する必要があります。一方で、町内の下水道管渠の内、塩化ビニール管が多くを占めており、劣化によるリスクはコンクリート管に比べて低いと想定しています。

全体総括

現在、下水道未普及解消を継続して進めている当町の事業経営において、一般会計からの繰入金が必要不可欠であり、流域下水道維持管理負担金等の汚水処理費について、下水道使用料収入だけでは賄いきれていないのが現状です。今後は、貸借対照表や損益計算書等の財務諸表を分析し、経営計画や下水道ビジョンを見直して将来に渡り持続可能な事業経営を図ります。下水道事業運営の財源を安定的に確保するための使用料改定についても検討を進めていく予定です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。